【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公開番号】特開2014-90433(P2014-90433A)
【公開日】平成26年5月15日(2014.5.15)
【年通号数】公開・登録公報2014-025
【出願番号】特願2013-246257(P2013-246257)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｌ　29/08　(2006.01)
Ｈ０４Ｌ　29/06　(2006.01)
Ｈ０４Ｌ　13/08　(2006.01)
Ｈ０４Ｌ　12/70　(2013.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｌ　13/00　３０７Ｚ
Ｈ０４Ｌ　13/00　３０５Ｚ
Ｈ０４Ｌ　13/08
Ｈ０４Ｌ　12/70　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成26年4月30日(2014.4.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
パケットの再送信方法であって、
複数のパケットの内の少なくとも一つのパケットを、再送信すべきでないものとして識別し、
前記複数のパケットを送信または受信する方法において、
前記少なくとも一つのパケットを再送信のために記録しないことを特徴とするパケット再送信方法。
【請求項２】
請求項１の方法において、
複数のパケットの内の少なくとも一つの第２パケットを、再送信すべきものとして識別することをさらに備え、
前記少なくとも一つの第２パケットを再送信のために記録することを特徴とするパケット再送信方法。
【請求項３】
請求項１または２の方法において、
前記複数のパケットは、トランシーバーによって送信されることを特徴とするパケット再送信方法。
【請求項４】
請求項１～３のいずれかの方法において、
前記複数のパケットは、トランシーバーによって受信されることを特徴とするパケット再送信方法。
【請求項５】
請求項１～４のいずれかの方法において、

前記複数のパケットは、高位レイヤから受信されることを特徴とするパケット再送信方法。
【請求項６】
請求項１～５のいずれかの方法において、
複数のパケットは、ＩＰパケット、イーサネット(商標)パケット、ＡＴＭセル、ＰＴＭパケット、ＡＤＳＬ　Ｍｕｘ－データフレーム、ＰＴＭ-ＴＣコードワード、ＲＳコードワード、ならびにＤＭＴシンボルの少なくともいずれか一つのバイトのグループであることを特徴とするパケット再送信方法。
【請求項７】
請求項１～６のいずれかの方法において、さらに
各パケットに対し、シーケンス識別子（ＳＩＤ）を含むビットフィールドが添付され、好ましくは、前記識別ステップはシーケンス識別子（ＳＩＤ）のための特別な値を用いること、および／または、添付ビットフィールドは専用のＣＲＣを含むことを特徴とするパケット再送信方法。
【請求項８】
複数のパケットの内の少なくとも一つのパケットを、再送信すべきでないものとして識別する手段と、
前記複数のパケットを送信または受信する手段と、
をそなえたパケット再送信手段であって、
前記少なくとも一つのパケットを再送信のために記録しないことを特徴とするパケット再送信手段。
【請求項９】
請求項８の手段において、
複数のパケットの内の少なくとも一つの第２パケットを、再送信すべきものとして識別する手段をさらに備え、
前記少なくとも一つの第２パケットを再送信のために記録することを特徴とするパケット再送信手段。
【請求項１０】
請求項８または９の手段において、
前記複数のパケットを、高位レイヤから受信する手段をさらに備えることを特徴とするパケット再送信手段。
【請求項１１】
請求項８～１０のいずれかの手段において、
当該手段は、無線トランシーバ、無線ＬＡＮステーション、有線トランシーバ、ＤＳＬモデム、ＡＤＳＬモデム、ｘＤＳＬモデム、ＶＤＳＬモデム、マルチキャリア・トランシーバ、汎用コンピュータ、特定用途コンピュータ、プログラムされたマイクロプロセッサ、マイクロコントローラ、周辺集積回路要素、ＡＳＩＣ、デジタル・シグナル・プロセッサ（ＤＳＰ）、ハード結線電子または論理回路、プログラムマブル論理装置の一以上に実装されていることを特徴とするパケット再送信手段。
【請求項１２】
請求項８～１１のいずれかの手段において、
ＰＴＭ－ＴＣ、ＡＴＭ－ＴＣ、ＰＭＤ、ＰＭＳ－ＴＣの一以上に実装されていることを特徴とするパケット再送信手段。
【請求項１３】
請求項８～１２のいずれかの手段において、
前記複数のパケットは、ＩＰパケット、イーサネット(商標)パケット、ＡＴＭセル、ＰＴＭパケット、ＡＤＳＬ　Ｍｕｘ－データフレーム、ＰＴＭ-ＴＣコードワード、ＲＳコードワード、ならびにＤＭＴシンボルの少なくともいずれか一つであり、さらに／または、バイトのグループであることを特徴とするパケット再送信手段。
【請求項１４】

請求項８～１１のいずれかの手段において、さらに
各パケットに対し、シーケンス識別子（ＳＩＤ）を含むビットフィールドを添付する手段をさらに備え、好ましくは、前記識別ステップはシーケンス識別子（ＳＩＤ）のための特別な値を用いること、および／または、添付ビットフィールドは専用のＣＲＣを含むことを特徴とするパケット再送信手段。
【請求項１５】
請求項１～７のいずれかの方法を実行するための情報を含む情報記録媒体。